

議長／皆さんおはようございます。

ただいまより令和4年6月、武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました、第39号議案から第46号議案までの8件の議案と報告10件を一括上程いたします。

日程第1．会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をしておりましたので、これに対する議会運営委員長のお答申を求めます。

上田議会運営委員長

上田議会運営委員長／おはようございます。

令和4年6月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、6月3日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について御報告を申し上げます。議長から諮問がありました事項は、第1．会期及び会期日程について、第2．付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3．一般質問の質問順序について、以上3項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、条例議案2件、事件議案4件、予算議案2件、報告事項10件の計18件でございます。

なお、追加議案等について、事件議案1件が予定をされております。

その他、武雄市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を予定しております。

次に、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

審議の順序は議案番号順に行い、第45号議案 令和4年度武雄市一般会計補正予算(第3回)につきましても、所管の常任委員会に分割して付託、その他の議案につきましても、所管の常任委員会に付託することで意見の一致を見ました。

次に、一般質問でございます。

14名の議員から41項目の通告がなされており、質問順序の抽選結果はデータ配付のとおりでございます。

6月13日から17日まで4日間の日程とし、抽選結果の順に、13日、14日は4人ずつ、15日、16日はそれぞれ3名ずつ行うこととして、いずれも午前9時開議とすることに決定をいたしました。

質問時間につきましては、答弁を含めて60分であります。

以上のことを考慮し、検討をいたしました結果、会期は、本日6日から6月23日までの18日間が適当である旨、決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、データ配付のとおりでございます。

答申は以上でございます。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日6日から23日までの18日間と決定をいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

## > 「異議なし」の声

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日6日から23日までの18日間とすることに決定をいたしました。

日程第2．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、2番 山崎議員、5番 江口議員、8番 豊村議員の以上3名を指名をいたします。

日程第3．議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告は、データ配信をしておりますので、それをもって報告にかえさせていただきます。

日程第4．市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

武雄市議会定例会の開会にあたり、一言御挨拶申し上げます。

まず、治水対策と防災・減災の強化についてであります。

本市を含む九州北部地域は、まもなく梅雨入りを迎え、本格的な出水期に入ります。

昨今の気候変動の状況に鑑みると、いつ何時大きな災害が起こるとも限らず、十分な警戒が必要です。

そこで、2年で2回の豪雨災害を踏まえ、同じ被害を二度と起こさないために、大雨に遭っても被害を最小化できる備えを強力に推進する必要があります。

昨年の豪雨災害以降、国、県や関係機関と連携し、河川の緊急河道掘削やしゅんせつ、排水ポンプの増強を進めてまいりました。

あわせて、市民の皆さんへ協力をお願いしながら、田んぼダムの設置やため池の事前放流を行うことで、雨が降っても河川への雨水の流入量を減らし、排水ポンプの停止を回避するための取組を進めております。

また、広域で連携した治水対策を進めるため、六角川水系流域治水協議会では、「流域治水プロジェクト」を策定し、それぞれの機関において行動計画を取りまとめました。

本市においても流水公園の整備などの新たな内水対策や水害に強いまちづくりなど、様々な観点から中長期的な治水対策にも強力に取り組んでまいります。

加えて、仮に大雨等に見舞われても、安心して避難できる環境の整備を行ってまいりました。これまでの指定避難所に加え、地域の自治公民館や集会所等を避難所として活用するため、非常食や飲料水を配備し、お一人お一人が居住地からできるだけ近く、安全な場所に避難できる環境を整備してまいります。

5月20日には、農業用機械を含む車両避難所の設置について、市内の事業所と協定を締結し、市内20か所で昨年までの3倍以上にあたる、最大5000台の車両避難所を確保いたしました。また、3年前の豪雨災害を受けて洪水ハザードマップを作成し、全戸への配布等により、災害に向けたリスク低減を図ってまいりましたが、今回、さらに大雨時の内水による被害の想定を加え、浸水地をこれまでよりきめ細かく表示するなど、市民の皆さんがより使いやすい形で内水デジタルハザードマップを新たに整備し、さらなる自助、共助の強化を図ってまいります。

引き続き、市民の命と暮らしを守ることを最優先としながら、気候変動に対応したまちづくりを進めてまいります。

西九州新幹線の開業についてであります。

9月23日の西九州新幹線の開業に向けて、5月11日に武雄温泉駅に西九州新幹線かもめの車両が走行試験として、初入線いたしました。

待ちに待った新幹線開業が間近に迫ってまいりました。

この開業を契機に、交通の利便性の高さや地域資源を生かして、さらなるまちの元気と活性化につなげていくことが重要であります。

4年前に開催し、8万人の御来場をいただいた、東北三大祭りの一つ、秋田竿燈まつりを、新幹線開業記念として、11月12日に再び本市にて開催することを決定いたしました。

4年前に多くの皆さんを感動の渦につつんだ竿燈の明かりが再び武雄の夜を彩ります。

九州で秋田竿燈まつりを見られるのは、ここ武雄市だけであり、加えて今回は、前回より3本多い8本の竿燈をお持ちいただきます。

これまで秋田との絆をつないでいただいている市民の皆さんに深く感謝を申し上げます。竿燈の明かりを希望の明かりとしてみんなで祝いし、未来につなげていくとともに、開業に向けた気運醸成も官民一体となって行ってまいります。

また、新幹線開業を移住定住人口の増につなげていくため、4月19日にピープル株式会社と子育て環境分野における連携協力協定を締結いたしました。

今後は本市の子育て環境のよさを官民連携で積極的に発信してまいります。

さらに、新幹線開業効果を最大限に生かすために、西九州新幹線沿線5市で人気アニメとのコラボレーション事業を発表いたしました。

また、西九州の玄関口となる武雄温泉駅に新たに設置する観光交流センターには、本市を起点に西九州エリアを周遊いただくため、本市だけではなく、近隣市町の情報や特産品等を取りそろえる準備を進めております。

今後も、引き続き周辺自治体と連携しながら、西九州のハブ都市としてのまちづくりを引き続き進めてまいります。

新型コロナウイルスへの対応等についてであります。

武雄市における新規陽性者はピーク時と比べて減少してきましたが、引き続き市民の皆さんに基本的な感染予防の徹底を呼びかけるなど、感染拡大防止に努めてまいります。

ワクチン接種につきましては、3回目までのワクチン接種について、医師会や医療機関の皆様のご全面協力の下、全国や佐賀県の接種率を大きく上回るペースで、着実に接種が進んでおります。

4回目接種については、6月2日に3回目接種を12月に受けた60歳以上の方に接種券の発送を開始いたしました。

今後は、60歳以上の方で、3回目接種から5か月を経過する前に、4回目ワクチン接種券を順次発送いたします。

また、18歳から59歳で基礎疾患がある方の申請を受け付けております。

引き続き、希望する全ての方が一日でも早くワクチン接種をできる環境を整備してまいります。

市民生活への支援といたしましては、コロナ禍の長期化による影響を受けやすい世帯を支援するため、ひとり親世帯や低所得の子育て世帯等へ生活支援特別給付金を支給いたします。

4月分の児童扶養手当受給者の方は、申請不要で6月15日に支給をいたします。

また、昨年度に引き続き、市立小中学校における修学旅行や宿泊研修が、コロナの影響により中止や延期、行き先の変更等を余儀なくされた場合のキャンセル料を、市が全額助成いたします。

引き続き、市民の命と暮らしを守るため、感染防止の徹底、市民生活への支援、地域経済への回復と活性化、次への備えを4つの基本方針に基づき、コロナ対策に全力で取り組むとともに、原油価格や物価の高騰に対しても機動的に対応してまいります。

スポーツ文化のまちづくりについてであります。

この7月に武雄市民球場がオープンいたします。

野球をしない方も含めて、市民の誰もが利用できる「親しみやすく、みんなで育てていく球場」として、幅広く活用してまいります。

あわせて、新体育館の確実な事業推進を図るとともに、合宿や大会誘致を積極的に行い、市

民のスポーツ人口の増加だけではなく、市内経済の活性化にもつなげてまいります。

また、文化施設エリアの整備については、市民の皆さんの意見を聞きながら、来年2月までに新文化施設の基本計画を策定してまいります。策定に当たり、整備方針を定めました。文化会館の大ホールについては、文化のシンボリックな建物として、長寿命化工事を行って、今後も残すこととし、その他については建替を行い、施設内に文化施設を新たに整備いたします。

あわせて、武雄公民館の整備も行います。

加えて、建物の整備だけではなく、旧武雄鍋島家庭園や塚崎の大楠なども含めて、文化施設エリアとして整備いたします。

本年3月に策定いたしました、武雄市文化のまちづくり構想の基本理念、もっと開かれた、もっと関われる、もっとつながれる、文化が生きるまちを実現できる拠点として、より多くの市民の皆さんが気軽に文化に関わり、つながり、交流することで、新しい文化の創造と文化による、まちのにぎわいの創出を目指してまいります。

以上、市民の皆さんの命と暮らしを守るとともに、未来への希望をつくる各種政策に全力で取り組んでまいりますので、議員各位の御理解・御協力を切にお願い申し上げ、私の提案事項説明とさせていただきます。

今議会もどうぞよろしく願いいたします。

議長／北川副市長

北川副市長／おはようございます。

私のほうから、今定例会に提出いたしております議案について、その概要を御説明申し上げます。

まず、条例議案2件について御説明いたします。

「武雄市体育施設設置条例の一部を改正する条例」は、新体育館の設置に伴い、条例を改正するものです。

「武雄市自転車駐車場設置条例の一部を改正する条例」は、自転車駐車場の移設等に伴い、条例を改正するものであります。

続きまして、事件議案4件について御説明いたします。

「新武雄工業団地造成（1工区）工事請負契約の一部変更について」、同じく、2工区工事請負契約の一部変更について、及び同じく、3工区工事請負契約の一部変更については、新武雄工業団地造成工事の契約金額に変更が生じたため、議会の議決を求めるものであります。

「佐賀県市町（しまち）総合事務組合規約の変更について」は、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるものであります。

続きまして、予算議案について御説明いたします。

「令和4年度武雄市一般会計補正予算（第3回）」では、国及び県の補助金による事業の追加など、当初予算編成後に生じた事由により、速やかに対応すべき経費について補正をお願いしております。

まず、国や県の補助金等を活用した事業では、子育て世帯生活支援特別給付に要する経費や、新型コロナウイルスワクチン4回目接種の体制確保に要する経費などを計上いたしております。

市単独事業では、内水デジタルハザードマップの整備や、新幹線開業記念コンサートの開催に伴う経費などを計上いたしております。

その他の補正予算では、1件の公営企業会計の予算を提出いたしております。

このほか、「令和3年度武雄市一般会計継続費繰越計算書の報告について」など10件の報告をいたしております。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第5．教育長の教育に関する報告を求めます。

松尾教育長

松尾教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

初めに、学校教育について申し上げます。

小中学校では、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大防止のために、臨時休業や学級閉鎖等を行っておりますが、この間も、オンライン学習等で児童生徒の学びを止めないよう取り組んでおります。

学習者用デジタル教科書は、小学校5年生から中学校3年生までの国の事業による導入に加え、小学校1年生から4年生にも市独自で導入し、ICTのさらなる活用を図っていきます。花まる学習については、朝の花まるタイムで地域の方との交流が新型コロナウイルス感染症のためにできておりませんが、今後は各地域で地域の方が入れるように協議を行ってもらっている状況です。地域との交流や連携が少しでもできるようになればと思っております。

生理用品の配置については、武雄市では、今年度から市内小中学校16校に配置をいたしました。これまで、保健室に受取りに行っていたものを、小学校4年生以上の各学年のトイレの個室1か所に配置いたしました。生理の貧困以外の問題にも、張り紙等をして、相談できる体制を継続してまいります。

武雄中学校の制服は、開校当時のデザインだったものを今年度から3年間の移行期間を設け、男女とも上着はブレザー、ネクタイ、女子はスラックスやキュロットスカートを選択

できるようにするなど、多様性に対応したデザインの制服を採用しています。

学校施設については、建設後 30 年以上経過して雨漏りをしていました朝日小学校の体育館について、屋根の改修工事の施工を 5 月末までに完了しております。

次に、子育てについて申し上げます。

子育て総合支援センターでは、昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館やイベントの中止等をいたしました。現在、支援センターや各町公民館等での「地域のひろば」では、皆様の御理解・御協力をいただきながら、利用を再開していますので、お出かけいただければと思います。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

朝日公民館では、3 月 27 日の落成式に関係者や地域の方々に御出席いただき、完成を祝っていただきました。現在も多くの方々に御利用いただいております。朝日公民館を初め、各町の公民館では、今後も社会教育とまちづくりの拠点として、様々な活動や交流を行ってまいります。

文化関係について申し上げます。

武雄市天然記念物「武雄の大楠」は、推定樹齢 3000 年以上の老木で、気候の変化や病害虫に対応する基礎体力が低下しており、特にここ最近の異常気象もあり、大楠の枯れや腐食が広がっています。4 月 28 日より、空気・水分・養分を取り入れる根を保護するために、見学者の立入り禁止範囲を広げています。地域の誇りである「武雄の大楠」に一日でも長く生きてもらうために、御理解・御協力をお願いいたします。

武雄市図書館・歴史資料館では、4 月 23 日から 5 月 22 日まで、企画展「銀杏を掲げる」武雄十兵衛家寄贈記念を開催いたしました。昨年武雄市に寄贈されました、武雄鍋島家の上級家臣であった武雄十兵衛家の資料で、武雄の歴史を振り返ることができる貴重な資料、約 100 点を紹介いたしました。

こども図書館では、平成 29 年 10 月のオープン以来の来館者数が 100 万人に達し、5 月 14 日に記念セレモニーを開催いたしました。多くの皆様に御来館いただき、感謝申し上げます。

さらに愛される図書館を目指してまいります。

昨年度、「武雄市文化のまちづくり構想」を策定し、今年度から構想実現のための事業を実施してまいります。

また、文化で活気づき、にぎわうまちを目指すためにも、文化会館を新たな文化施設のエリアとして武雄公民館を含めて再整備するために、「新文化施設エリア整備に伴う基本計画」の策定に着手いたします。

以上、教育に関する報告をいたしました。

なお、3 月から 5 月までの 3 か月間に実施しました主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりであります。

最後になりますけれども、今後とも、さらなる御指導・御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

議長／以上で、本日の日程は終了いたしました。  
本日はこれにて散会いたします。